令和３年度　湯梨浜町立羽合小学校　学校だより

はわい物語

令和３年１２月２４日　No.２０
文責　校長　谷口

２学期終了！ ご協力ありがとうございました。

８月26日、全国各地が新型コロナウイルス感染症対策の緊急事態宣言下となる中、2学期がスタートしました。始業式に臨み、子どもたちに「勉強に力いっぱいがんばり、たくさんの行事に一生懸命に取り組むと心も体もたくましくなり、賢くなるチャンスがたくさんあり、進化できる大切な学期だ。」ということを話しました。

83日間の学期を終える今、日々の学習や友達との活動、さらには学習発表会、持久走大会等たくさんの行事を節目とし、個人や学級、学年だけでなく、学校としてのまとまりや高まりも実感しています。特にこの2学期には多くの学年がたくさんの外部講師の方々にお世話になりました。お世話になった後に校長室でお話をすることがよくあったのですが、多少のリップサービスはあるかもしれませんが、みなさんが、「落ち着いた学年ですね。」とか「子どもたちの反応がよくて、楽しく話ができました。」と口々に話してくださいました。学びに向かう姿勢が高まっていることと同時に、学びを楽しむ姿も見られるようになってきていることは本当にうれしい限りです。

子どもたちが明確に学習のめあてを持ち、それに向かって教師とともにあきらめず、一つ一つをやり遂げ、積み重ねてきた経験と自信が、一人一人の子どもの生きる上での”**心の体幹**“を鍛え、すべての進化・成長へとつながったのだと感じています。

さて、本日、家庭連絡票を渡しております。詳細は先日の個人懇談でお伝えしておりますが、家庭連絡票の中には、一人一人の頑張りや成長がたくさん見られるはずです。よいところはしっかりほめ、努力のいるところは3学期にどうするのか、親子で是非話し合ってください。保護者のよりよい声かけ、励ましひとつで、3学期のやる気スイッチがしっかりとオンになるはずです。よろしくお願いします。

2学期も羽合小学校教育の推進に、ご理解・ご協力いただきありがとうございました。

家族の団らんを大切に！

いよいよ明日から12日間の冬休みがやってきます。多くのご家庭で年末年始はご家族がそろわれる機会も多いのではないでしょうか。105歳まで医師として活躍された日野原重明さんが、著書の中で「家族とは何か」と問われ、「一緒に食卓を囲む存在」とこたえられています。食事をともにできるということ、それ自体がどんなにすばらしいことなのかをしみじみと語られています。子どもたちにとっては、クリスマスプレゼントやお年玉をもらうことが冬休みの最大の楽しみかもしれませんが、家族みんなで食卓を囲み、今年一年を振り返ってみられるのもいいかもしれませんね。そんな中で、子どもたちが、家族に支えられ、今年もがんばってこられたことを実感できれば、どんなにすばらしいことでしょう。

２０２２年（令和４年）寅年が間もなくやってきます。
皆様、よいお年をお迎えください。